

第5期町田市介護保険事業計画 2013年度 進捗状況 要約版

基本目標	基本施策	事業数 (指標数)	進捗			
			◎	○	×	—
1. いきいきと安心して地域で暮らすために	(1)健康づくり・介護予防の推進	8	2	4	2	0
	(2)高齢者支援センターの機能の充実	2	1	1	0	0
	(3)認知症高齢者支援及び家族介護者支援	7	1	4	2	0
2. 自分に合った施設や住まいを選択できるようにするために	(1)高齢者の住まいの選択肢拡大	3	0	1	2	0
	(2)地域に密着した介護保険サービスの提供	5	0	2	3	0
	(3)介護保険施設の整備	3	0	3	0	0
3. よりよい介護保険サービスが利用できるように	(1)介護保険サービスの質の向上	3	3	0	0	0
	(2)介護人材の育成・確保	1	0	0	1	0
	(3)介護給付・運営の適正化	8	0	8	0	0
	(4)保健・福祉・医療の連携	3	0	3	0	0
合計		43	7	26	10	0
		割合	16.3%	60.5%	23.2%	0.0%

【計画以上に進んでいる】 + 【計画通り進んでいる】 ⇒ 76.8%

＜全基本施策の総評＞

基本目標1 いきいきと安心して地域で暮らすために

→介護予防事業等への参加を通して、市民の健康づくりの推進を図りました。今後も多様な事業への市民参画を継続し、認知症の支援の強化、介護予防事業へのさらなる参加促進につなげます。

基本目標2 自分にあった施設や住まいを選択できるようにするために

→在宅での介護を支える基盤の整備が課題となっています。市民の在宅介護意向を把握し、整備方針を検討し、必要な圏域や、必要な事業への参入を促進します。

基本目標3 よりよい介護保険サービスが利用できるように

→保健・福祉・医療連携に向けた協議体の整備、相談窓口の充実が進みました。会議の効果的な運用とともに、相談等の成果のフィードバックにより成果の共有を進めます。

※計画書第4章(47ページ)より、基本目標順で、基本施策ごとに、主な取組み(事業)を1つずつ抜粋してあります。【～ページ】の記載は、計画書のページ番号です。

※進捗の評価の基準は、原則、目標値より1つでも上回っていれば「◎」、目標値通りであれば「○」、目標値より1つでも下回っていれば「×」、目標値の指標が変わったものには「—」、を付けています。

～基本目標 1 いきいきと安心して地域で暮らすために～

高齢者がいきいきと安心して地域で暮らしていけるように、介護予防を推進し、高齢者支援センターの機能の充実を図るとともに、認知症家族介護者への支援を行っていきます。

<基本施策・事業の進捗状況>

基本施策	事業数 (指標数)	進捗			
		◎	○	×	—
(1)健康づくり・介護予防の推進	8	2	4	2	0
(2)高齢者支援センターの機能の充実	2	1	1	0	0
(3)認知症高齢者支援及び家族介護者支援	7	1	4	2	0
合計	17	4	9	4	0
	割合	23.5%	53.0%	23.5%	0.0%

【計画以上に進んでいる】 + 【計画通り進んでいる】 ⇒ 76.5%

○基本施策1. 健康づくり・介護予防の推進【47ページ】

<主な実績と成果>

- ・認知症発症遅延活動事業では、自主グループ化を進めるとともに、グループの活性化を促しました。
- ・二次予防事業対象者把握事業では、健康チェック表を直接送付・回収する方式に変更したことにより、把握率が大幅に向上しました。
- ・通所型介護予防事業では、既存事業の充実と新規事業の開始により、参加人数が増加しました。

<今後の課題>

- ・市民のニーズに応じた企画、市民の活用など、介護予防事業への参加と参画を一層進める必要があります。

○基本施策2. 高齢者支援センター機能の充実【50ページ】

<主な実績と成果>

- ・電話、来所の相談に加え、訪問相談も増加し、相談件数は約 54,000 件となったほか、機能強化に向け、センターの自己評価を実施しました。
- ・認知症の相談や、虐待を含む権利擁護に関する相談などを通じ、市民の問題の把握、解消に努めました。

<今後の課題>

- ・評価結果の事業計画への反映やセンター同士の交流を増やし、更なるスキルアップにつなげます。

○基本施策3. 認知症高齢者支援及び家族介護者支援【51ページ】

<主な実績と成果>

- ・認知症サポーターの養成人数は、76 回開催し、累計で 1 万人規模に達しました。
- ・認知症施策推進協議会を設置し、認知症施策の検討基盤が整いました。

<今後の課題>

- ・認知症施策推進協議会の設置後に、認知症高齢者の早期発見・早期治療が課題となります。

～基本目標2 自分に合った施設や住まいを選択できるようにするために～

高齢者が、いつまでも自分らしく、安心して生活を続けられる施設や住まいを、一人ひとりの状況に応じて選択できるよう、住宅改修支援事業の推進や地域に密着した介護保険サービス、特別養護老人ホームなどの介護保険施設、有料老人ホームなどの高齢者の住まいの整備を進めます。

<基本施策・事業の進捗状況>

基本施策	事業名 (指標数)	進捗				
		◎	○	×	—	
(1) 高齢者の住まいの選択肢拡大	3	0	1	2	0	
(2) 地域に密着した介護保険サービスの提供	5	0	2	3	0	
(3) 介護保険施設の整備	3	0	3	0	0	
	合計	11	0	6	5	0
		割合	0.0%	54.5%	45.5%	0.0%

【計画以上に進んでいる】 + 【計画通り進んでいる】 ⇒ 54.5%

○基本施策1. 高齢者の住まいの選択肢拡大【54ページ】

<主な実績と成果>

- ・高齢者住宅設備改修は、給付を継続しています。
- ・有料老人ホーム等については、混合型、介護専用型ともに、目標を下回りました。

<今後の課題>

- ・高齢期の住まいの新たな整備については、住まいのニーズに加え、在宅介護サービス等の利用の意向や地域ごとの充足率等を加味し、整備方針を検討します。

○基本施策2. 地域に密着した介護保険サービスの提供【55ページ】

<主な実績と成果>

- ・認知症高齢者グループホームについては、計画通りの整備が進みました。一方、小規模多機能型居宅介護（1施設）、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、複合型サービスについては、事業者の応募がなく、目標を下回りました。

<今後の課題>

- ・家族を含む高齢者の在宅介護による利用意向の把握とともに、事業者の参入意向等を踏まえて、整備方針を検討します。

○基本施策3. 介護保険施設の整備【58ページ】

<主な実績と成果>

- ・特別養護老人ホームについては、1施設（定員77人）着工され、1施設（定員38人）は来年度への工期延長、1施設（定員90人）が事業者の取り下げとなりました。なお、取り下げ分については、事業者の再公募を行っています。

<今後の課題>

- ・今後の整備検討にあたり、特別養護老人ホームの入所待機者の意向の詳細の把握が必要です。
- ・在宅介護の把握、介護保険給付費の推移を分析しながら、整備方針を検討します。

～基本目標3 よりよい介護保険サービスが利用できるように～

高齢者が安心して生活を続けることができるよう、介護保険サービスの質の向上、介護保険サービスを提供する人材の育成・確保への支援、医療と福祉の連携等の環境づくりに取り組んでいきます。

<基本施策・事業の進捗状況>

基本施策	事業名 (指標数)	進捗				
		◎	○	×	—	
(1) 介護保険サービスの質の向上	3	3	0	0	0	
(2) 介護人材の育成・確保	1	0	0	1	0	
(3) 介護給付・運営の適正化	8	0	8	0	0	
(4) 保健・福祉・医療の連携	3	0	3	0	0	
	合計	15	3	11	1	0
		割合	20.0%	73.3%	6.7%	0.0%

【計画以上に進んでいる】 + 【計画通り進んでいる】 ⇒ **93.3%**

○基本施策1. 介護保険サービスの質の向上【61ページ】

<主な実績と成果>

- ・主任ケアマネジャーの協力を得て、ケアプラン点検事業を新たに実施しました。
- ・町田市介護人材開発センターの協力により、研修会を年5回開催しました。
- ・第三者評価は5施設増で38施設が受審し、介護相談員派遣も30箇所への拡大が図られました。

<今後の課題>

- ・地域ケア会議と連動した取組みや、在宅介護事業所の評価の促進等、地域包括ケアの推進の課題に沿った、更なるサービスの質の向上の取組みを実施します。

○基本施策2. 介護人材の育成・確保【62ページ】

<主な実績と成果>

- ・町田市介護人材開発センターに対して、有料化による登録事業所の低下があったことなどから、運営について指導しました。

<今後の課題>

- ・町田市の実情や事業課題を踏まえた取組みにより、町田市介護人材開発センターの財政的自立の確保にむけた取組みを進めます。

○基本施策3. 介護給付・運営の適正化【63ページ】

<主な実績と成果>

- ・指導専門の職員を雇用して指導を強化し、指導事業者数を昨年度より増やしました。
- ・災害時の連絡網構築に取り組み、高齢者支援センターを拠点とする情報伝達網を整備した。また、拠点ごとに伝達ポストを設置し、24時間、情報の伝達を可能にしました。

<今後の課題>

- ・指導の強化を継続します。
- ・模擬訓練を実施し、更なる課題の検証及びマニュアル充実を図ります。

○基本施策4. 保健・福祉・医療の連携【66ページ】

<主な実績と成果>

- ・認知症総合相談窓口を設置しました。
- ・認知症支援推進員連絡会を開催し、認知症に関する社会資源の整理を行いました。
- ・医療連携に向けた多職種連携会議が発足しました。

<今後の課題>

- ・窓口、連絡会の効果的な運用を行っていきます。